

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 - II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 - III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 - IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 - V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 茨城県 】

学校名【 水戸市立大場小学校 】

1 実践テーマ	I ・ V
2 実施対象者 (学 年 ・ 人 数)	①「I'm POSSIBLE」を活用した事前学習………全学年（100名） ②校内陸上記録会（「OOBA2020☆」）……………4～6学年（47名） ③オリ・パラ集会（児童集会）……………全学年（100名） ④オリンピックによる講演会……………全学年（100名）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間、特別活動、体育） ② 行事名（オリ・パラ集会、オリンピックによる講演会） ③ その他（オリ・パラコーナーの設置） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目 標 (ねらい)	(1) オリンピック・パラリンピック学習を通して、障害者スポーツ等への理解を深める。 (2) 運動やスポーツを「する・見る・支える・知る」などの視点で捉え、自己の特性に応じて運動やスポーツに多様な形で関わられるようにする。 (3) オリンピアンとの講話を通して、オリンピック教育を推進し、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。
5 取組内容	(1) 事前・事後学習 ① 国際パラリンピック委員会公認教材 「I'm POSSIBLE」の活用 ※オリ・パラ集会に向けての事前学習として、全学年で1時間（学級活動等）の授業を行った。 ・生涯者スポーツについて学ぼう ・パラアスリートが学校にやってきました ・パラスポーツクイズを作ろう等 ② オリ・パラコーナーの設置 ・オリンピック、パラリンピック関係の書籍 ・選手紹介 ・クイズ ・新聞記事（令和2年12月24日付「茨城新聞掲載記事」）



- ③ 全校集会（放送）での事前学習
- ・日本で開催されたオリンピック、パラリンピック大会について
 - ・オリンピッククイズ
 - ・TOKYO2020 大会に向けて 等



(2) 校内陸上記録会

「OOBA2020☆～競技会を通してオリンピックを学ぼう!～」

期 日：令和2年 11 月 18 日（水）～11 月 27 日（金）全5回

対 象：第5、6学年（運営、記録等：第4学年）

種 目：男子 100m走／女子 100m走、ソフトボール投げ(選択)
走り幅跳び(選択)、ハードル走(選択)、走り高跳び(選択)
リレー(全員)

表 彰：各種目 1 位～3 位の個人、及び総合得点 1 位～5 位までの
チームにメダル授与（メダル作成：第4学年）

その他：大会マスコット、ポスター作成等：第4学年



(3) 児童集会

「オリ・パラ集会～オリンピック・パラリンピックについて学ぼう～」

期 日：令和2年 12 月 15 日（火）

時 間：ロング昼休み

（※前半の部 13:05～13:25／後半の部 13:30～13:50）

場 所：大場小学校体育館

対 象：第1～3学年（前半の部）、第4～6学年（後半の部）

運 営：環境委員会

次 第：司会（環境委員）

① はじめの言葉

② オリ・パラクイズ(オクリンク)

・オリ・パラ歴史クイズ

・競技当てクイズ

・選手当てクイズ など

③ パラ競技紹介

④ オリンピアンを紹介(世界・日本:ipad)

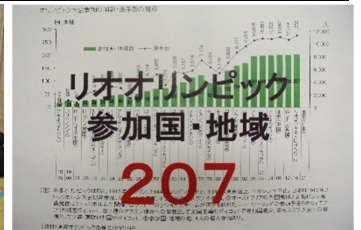
⑤ 高平慎士選手を紹介(動画等:ipad)

2008 年北京オリンピック

男子 4×100m リレー：銀メダリスト

⑥ 校長先生のお話

⑦ 終わりの言葉 ※前/後半共に同様



(4) 講演会（オンライン：ZOOM）

「オリンピックによる講演会～メダリストから学ぼう～」

期 日：令和2年 12 月 22 日（火）

時 間：前半の部 10:00～10:50／後半の部 11:00～11:50

	場 所：大場小学校体育館 対 象：第1～3学年（前半の部）、第4～6学年（後半の部） 運 営：体育主任 次 第：司会（体育部） ①開会の言葉 ②オリンピック（高平慎士選手）の紹介 ③オリンピックによる講演会（約30分） ～メダリストから学ぼう～ ④質問タイム（10分） 「オリンピックに聞いてみよう！」 ⑤お礼の言葉 ⑥校長先生のお話 ⑦閉会の言葉 ※前/後半共に同様   
6 主な成果	・国際パラリンピック委員会公認教材「I'm POSSIBLE」を活用することで、障害者スポーツの意義やパラアスリートの取組などについて、全学年を通して学習することができた。 ・校内陸上記録会では、競技会の運営や記録の測定、得点集計、メダルやポスター作成など、運動やスポーツを「支える」という視点を持ちながら積極的に取り組むことができた。 ・児童集会では、児童が作成したクイズや過去のオリンピック大会の出来事、日本や世界のアスリートの紹介などを通して、オリンピック・パラリンピックについての興味・関心を高めることができた。 ・オリンピックによる講演会では、コロナ禍による影響で当初予定されていた選手を招いての実技指導は叶わなかったが、ZOOMによるオンラインでの講演会を開催することができた。高平慎士選手にその場で質問するなど、児童にとって貴重な体験となった。
7 実践において工夫した点（事業の特色）	・感染症予防の観点から、児童集会と講演会では、前後半の2部制にして実施することができた。 ・校内陸上記録会では、メダル（木製）を手作りしたり、本校のマスコットキャラクター（おおばちゃん）を活用したオリジナルのポスター作りに取り組んだりすることができた。 ・富士通陸上競技部と直接連絡を取り、北京オリンピック銀メダリスト高平慎士選手による講演会（オンライン：ZOOM）を実現することができた。
8 主な課題等	・新型コロナウイルスの感染状況などに伴って、人数制限を設けたり、場の設定を普段よりも広く考慮したりするなど、計画が二転三転してしまうことも多くあった。 ・単発的な取組にならないよう、「I'm POSSIBLE」を活用したり、児童集会などでオリンピックについて学んだりするなど、今後も継続的な取組が大切だと感じた。
9 来年度以降の実施予定	今年度行った様々な取組を各教科や領域などに取り入れていきながら、オリンピック・パラリンピックについての興味・関心を引き続き高めていきたい。併せて、人権意識の高揚につなげたい。